



見沼自然散策

2024.11.16



見沼たんぼ地域ガイドクラブ



センニンソウ

↑夏の終わりに白い花をつけるセンニンソウが咲いている。つる植物は嫌われることが多く、刈り取られた後、再度花をつけたのかもしれない。実は長い毛がついた花柱(メシベ)が残り、この毛を仙人に見立て、名がついた



センニンソウ 実



シラカシ



ヤナギタデ



アキノレ



イヌタデ

葉が細長く垂れる様子を柳に見立てたヤナギタデは葉をかむと辛みがあり、日本古来の香辛料。アユの塩焼きについてくる緑色の蓼酢はこのヤナギタデで作る

↑ヤナギタデに似て、辛みがないので「否(いな)」タデからイヌタデ。



ジョロウグモ

ジョロウグモが目立つ季節大きな円網は日が当たると金色に輝く。横糸は獲物を捕らえるための糸で黄色い粘液がついているから縦糸はクモが歩くための糸でねばらず、獲物を待つときも縦糸に肢を置き、獲物がかかると振動を感じ、移動する



ウラナミシジミ



ウラギンシジミ雄



モズ・オス

◀秋になると、子育てが終わった成鳥も、今年生まれもの若鳥も、それぞれに縄張りを持つ。高いところにとまって「キチキチキチ！」と縄張りを主張するこれをモズの高鳴きという

↑ウラナミシジミは南の国生まれ。世代交代をくり返しながら北へも生息域を広げる。しかし、この辺りでは越冬できないため、見られるのは秋だけ

ウラギンシジミは成虫越冬、常緑樹の葉陰でじっとしているものを見かける



ウラギンシジミ雌



シジュウカラ



コゲラ



コガモ



ヒドリガモ